

症例①：Pola-R-CHP

60歳男性、未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)に対して、Pola-R-CHP療法を施行中の患者。

1コース目でG3の好中球減少とG2の便秘症状があった。

2コース目より連携充実加算対象患者として介入を行う事となった。

<2コース目 Day1化学療法前臨床検査値>

身長:165cm, 体重:60kg, 体表面積:1.66㎡,

CRE:0.65mg/dL (CCr:102mL/min) ,

Alb:3.8g/dL, UA:5mg/dL, T-Bil:0.5mg/dL, AST:20U/L, ALT:20U/L,

HbA1c:6.5%, 空腹時血糖:135mg/dL

WBC:5500/μL (Seg:80%) , Hb:10g/dL, Plt:300000/μL,

HBs抗体:陽性 (DNA定量:陰性) (赤字は正常範囲外)

治療に用いる点滴製剤	投与量
リツキシマブ (375mg/㎡)	620mg
ポラツズマブ ベドチン (1.8mg/kg)	108mg
ドキシソルビシン (50mg/㎡)	80mg
シクロホスファミド (750mg/㎡)	1245mg
プレドニゾロン (100mg/body)	100mg

服用中の内服薬	用法用量
プレドニン錠5mg	20錠1日1回朝食後4日分
ゾビラックス錠200	1錠1日1回朝食後21日分
ダイフェン配合錠	1錠1日1回朝食後21日分
酸化Mg錠330mg	3錠1日3回毎食後21日分
アムロジピン錠5mg	1錠1日1回朝食後21日分
ランソプラゾール錠15mg	1錠1日1回朝食後21日分

症例②：Nivolumab＋SOX

80歳女性、術後進行胃癌に対してNivolumab＋SOX療法を施行中の患者。
2コース目より連携充実加算対象患者として介入を行っている。
5コース目でG2の悪心があり、
6コース目よりデカドロンの内服処方追加となった。
今回、7コース目よりチラーヂンの内服が追加となっている。

<7コース目 Day1化学療法前臨床検査値>

身長:150cm, 体重:43kg, 体表面積:1.34㎡,
CRE:0.6mg/dL (CCr:50mL/min) ,
Alb:3.1g/dL, T-Bil:1.5mg/dL, AST:70U/L, ALT:58U/L,
HbA1c:5.7%, 空腹時血糖:118mg/dL,
KL-6:300U/mL, FT4:1.14ng/dL, TSH:43.5μIU/mL,
コルチゾール:11.3μg/dl, ACTH:14.4pg/mL,
WBC:5000/μL (Seg:70%) , Hb:11.8g/dL, Plt:165000/μL,
HBs抗体:陽性 (DNA定量:陰性) (赤字は正常範囲外)

治療に用いる点滴製剤	投与量
ニボルマブ (360mg/body)	360mg
オキサリプラチン (100mg/㎡)	130mg

服用中の内服薬	用法用量
エスワンタイハウ配合錠T20mg	1回2錠1日2回朝夕食後14日分
デカドロン4mg	1錠1日1回朝食後2日分
チラーヂン12.5μg	1錠1日1回朝食後21日分
ウルソデオキシコール酸錠100mg	3錠1日3回毎食後21日分
ランソプラゾール錠30mg	1錠1日1回夕食後21日分
エンシュアH (250mL缶)	1缶1日1回21日分
ヘパリン類似物質クリーム	1日数回 手足に塗布